



ローデ・シュワルツと Ceva 社、来るBluetooth® OTA UTP テストモードに対応した業界初のテストソリューションを発表

次のBluetooth®仕様のリリースが間もなく承認される見込みです。その重要な新機能の1つに、Bluetooth® Low Energyの従来のテスト方法を補完するUTP (Unified Test Protocol) テストモードがあります。UTPテストモードでは、OTA (over-the-air) 制御によるデバイス・テストが可能になり、テストに有線で直接接続する必要がないため、小さく高度に集積したデバイスの測定も非常に簡単に行えます。ローデ・シュワルツとCeva社は緊密に連携して、この新テストモードのための世界初のテストソリューションを開発しましたので、これをembedded world 2025で初公開します。



キャプション： R&S CMWテスト・プラットフォームは、Ceva社の無線制御ソフトウェアによって、すでにOTAテストのためのBluetooth® UTPテストモードのサポートを実現しています。(画像提供：ローデ・シュワルツ)

ローデ・シュワルツとCeva社は、間もなく導入され、OTA (over-the-air) 制御でのデバイス・テストが可能になるBluetooth® OTA UTPテストモードをサポートした世界初のテストソリューションを発表しました。私ども両社は、この共同ソリューションをニュルンベルクで開催のembedded world 2025に出展します。ローデ・シュワルツとCeva社が緊密に連携して開発した、Ceva-Waves Bluetooth® Low Energy IPで駆動するテストソリューションとなっています。ローデ・シュワルツのR&S CMW無線機テストプラットフォームとして動作し、Ceva社からライセンス供与されたCeva-Waves Bluetooth® Low Energy制御ソフトウェアが統合されています。

小型・高集積のBluetooth®デバイスをOTAでテスト

これまで、ウェアラブル機器などの小さく高度に集積されたBluetooth®デバイスは、試験機器と被試験デバイス (DUT) を制御ケーブルでつなぐダイレクト・テストモードを使用したテストが必要でした。特に封止されているDUTに、そうした制御ケーブルを接続するのは難しく、不可能な場合さえあります。したがって、UTPモードが規定するように、テストとDUTの間をケーブルでつなぐことなく試験制御メッセージを無線で送信できれば、テスト・セットアップが非常にシンプルになります。

Ceva社の技術で無線制御によるテストが実現

Ceva-Waves Bluetooth® Low Energyプラットフォームは、低電力でロバストなBluetooth® Low Energy接続機能をSoC (system on a chip) へ統合するための高速かつ低リスクなアプローチを提供するものです。この最適化されたハードウェアIPとソフトウェアを統合したスイートは、多くのメーカーがチップに導入し、Bluetooth® SIGの認定も受けています。一般の消費者製品用から車載用やモバイル用、スマートホーム用まで、さまざまな市場で数十億台ものデバイスに搭載されています。Ceva-Waves Bluetooth® Low Energy IPは、その完成度と安定性、そしてCeva社が開発プロセスを通じてお客様に提供している技術サポートにより、ローデ・シュワルツがOTA UTPテストに統合するのに理想的な選択肢として他を凌駕していました。

Ceva社副社長でワイヤレスIoT事業部ゼネラルマネージャーのTal Shalev氏は、次のように述べています。「ローデ・シュワルツは長きにわたってBluetooth® テスト分野のリーダーであり、そのR&S CMW無線機テスト・プラットフォームが高い評価を獲得するなど、業界のスタンダードを塗り替え続けています。特にBluetooth® OTA UTPテストモードの導入は、次世代の消費者向けBluetooth®製品のテストにとって極めて重要な進歩です。Ceva-Waves Bluetooth®技術によって、これにタイムリーに応える技術革新が実現したことを大変うれしく考えています」。

OTAによる統合的なBluetooth®テスト

R&S CMW無線機テスト・プラットフォームのBluetooth® UTPテストモードはシンプルかつ精密なシグナリング・テスト・ソリューションとして、開発からプリコンFORMANCE、製造テストにおよぶBluetooth® Low Energy無線テストに最適です。Bluetooth® Low EnergyとBluetooth® Classicの無線測定がすべて統合されており、OTAによるシグナリング接続のテスト・セットアップ1つで実行できるようになっています。Bluetooth®仕様の準拠を確実に実行するには、こうした包括的なテストの自動化とBluetooth®テストケースの極めて正確な実装が欠かせません。

ローデ・シュワルツでモバイル無線機テストを担当する上級副社長のChristoph Pointnerは次のように説明しています。「Ceva社から、高い実績を誇るBluetooth® Low Energy IPをもとに緊密な協力をいただいたおかげで、定評あるR&S CMWプラットフォームにBluetooth®コア仕様ワーキンググループの規定に準じた新しいBluetooth® UTPテストモードを実装できました。RFチップセットやモジュール、デバイスを提供するメーカーの皆様は、こうしたソリューションを待ち望んでおられたことでしょう。より簡単に製品をOTAでテストできるうえ、同じテスト・セットアップでBluetooth®無線機に関するすべてのテストを実施できるのでから」。

私ども両社はBluetooth®コア仕様ワーキンググループでの仕様策定にも積極的に参加しているため、このテストソリューションが今後リリースされるBluetooth®仕様に準拠したものになることは確かです。加えて、同ソリューションはチャンネル・サウンディング機能が登場するBluetooth®リリース6.0までの承認済みの仕様にもすでに適合しており、既存のダイレクト・テストモード（DTM）もサポートしています。

ローデ・シュワルツは、すぐに市場対応可能なこのテストソリューションを2025年3月11～13日に開催のembedded world Exhibition & Conferenceに出展します。ぜひ、ホール4・小間番号4-218の当社ブースまでお越しください。また、無線ベースの制御ソフトウェアについては、ホール4・小間番号4-462のCeva社展示ブースで詳しくご覧いただけます。

www.rohde-schwarz.com

お問い合わせ：

欧州（本社）：Christian Mokry（電話：+49 89 4129 13052、email：press@rohde-schwarz.com）

北米：Dominique Lutkus（電話：+1 503 523-7951、email：Dominique.Lutkus@rsa.rohde-schwarz.com）

アジア太平洋地域：Sze Ming Ng（電話：+603 5569 0011、email：press.apac@rohde-schwarz.com）

Ceva, Inc. 社について

Ceva社は、スマートエッジに新たな水準の技術革新をもたらそうと情熱を注いでいます。そのワイヤレス通信やセンシング、エッジAIなどの技術は、今日の最も先進的なスマートエッジ製品の中核を担っています。ワイヤレス接続IP（Bluetooth®・Wi-Fi・UWB・5GプラットフォームIP）から、スケーラブルなエッジAI NPU IP、センサ・フュージョンのためのソリューションまで、さらに信頼性高く効率的にデータを接続して検知や認識能力を高めるためのIPを幅広く取り揃えています。卓越した性能を超低消費電力かつ超小型の半導体フットプリントで実現する他社にはないソリューションを提供しています。その目標とするところは、よりスマートかつ安全で、もっと相互に接続された社会を実現するためのチップとソフトウェアIPを提供するというシンプルなものです。この理念は今も実際に働いています。Ceva社の製品はAI搭載のスマートウォッチやIoTデバイス、ウェアラブル端末から自動運転車や5Gモバイル・ネットワークまで、世界で最も革新的なスマートエッジ製品190億台以上でその能力を発揮しているのです。

米国メリーランド州ロックヴィルの本社を中心に世界各地で事業を展開し、グローバルな顧客基盤に役立っています。同社の社員はそれぞれの専門分野をリードするエキスパートであり、最も複雑な設計上の課題を着実に解決していくことで、お客様が革新的なスマートエッジ製品を市場投入できるように支えています。

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じて、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2023/2024会計年度（昨年7月から本年6月まで）には29.3億ユーロの純収益を上げました。また、2024年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約14,400名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル27階
〒160-0023
関野 敏正
電話番号: +81 3 5925 1270/1290
Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com
www.rohde-schwarz.com/jp